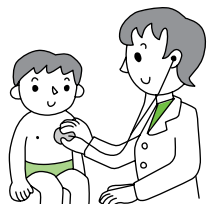


雇用問題について

濱元幸一郎 議員



就業援助制度について

濱元 就業援助を必要としている家庭が活用しやすい制度にすることが求められている。合志市の認定となる所得基準額は低すぎる。基準額を

産業振興部長 対応していきたい。

濱元 今ある雇用相談室を、解雇されそうになったときの相談にも乗れるように充実させるべきだ。

市長 雇用は生存権に関わること。心が痛む。市としてやれる可能なことを具体的に考えていきたい。

産業振興部長 十分検討する。

濱元 12月議会で議員提案された決議では、雇用を守るために市内企業に対して強く要請することを求めている。解雇撤回・雇用維持を強く要請するべきだ。

産業振興部長 企業等連絡協議会に対するアンケート調査の結果、解雇予定者は264人。うち125人が正社員。

濱元 雇用情勢が深刻な状況となっている。市内の雇用状況は。

市民の雇用と暮らしを守る実効的な対策は

木場田孝幸 議員



合志庁舎1階

木場田 12月定例会にて、「市民の雇用と暮らしを守る実効的な対策を合志市に求める決議」についての現況と今後の対策は。

産業振興部長 早々に緊急雇用対策連絡会議を開催し、市内企業の雇用調整計画等のアンケート調査を行い、緊急保障制度の認定事務の迅速化を図るための決着区分の見直しや、緊急雇用対策室での相談業務を開始し、現在26名の相談を受けている。今後も6月まで延長予定である。尚、ふるさと雇用再生基金事業には、実施する事業内容を検討し県への申請を行い補正予算をお願いしたいと考えている。

行政評価システムの評価は

木場田 行政評価システムを取り入れて今まで、いくら掛かり、このシステムの評価「メリット・デメリット」は。

企画総務部長 今まで3年間で約4353万円、21年度は920万円を計上している。事業目的の妥当性、有効性、効率性、公平性、の面から、政策体系に沿った24本の施策の優先度をつけ、予算の重点配分化をしている。情報公開を進め、透明性の高い行政経営を実現すること・市民の起点に立った行政体質の改革・政策の再構築・職員間や市民の皆さんとの情報の共有化・施策ごとに数値化し公表することでまちづくりの進捗状況が一目瞭然となった。厳しい財政運営の中で、メリハリの効いた予算配分ができる。

事務量の増加や激変した仕事の手法、評価作業などで職員の負担は増えている。職員の理解促進に向け、今後、取り組んで行きたい。

なぜ過払いが生じた

池永 幸生 議員



見解されているが。

市長 責任についてはどこだといえないが、市民の理解を得るためにも過誤を訂正し、業者の方からの返納の意思があると解釈している。

地域計画について

池永 合志市の将来の形成像を考える中で、一町で合併したもの、中々核というものを決めかねている。消防本部や警察署、ごみ焼却場等の施設を市内に設置計画することで、菊池郡市の中でリーダーになれる市づくりの構想はないか。

市長 現状でも、高専や九農研、再春荘病院に、恵楓園、農業公園と官公庁が中心部に集中しているので、連絡会議を設置し、情報の収集や相互啓発を進めながら、提案のように、施設の誘致に可能なものから動いてみたい。警察署については、市で署がないのが合志市と宇土市くらいなので、県の財政状況や、県警の組織的な事情もあると思うが、市民の生命、財産を守ることからも県に要望していきたい。

池永 ごみ収集委託料に過払いが発生していた。原因は風袋登録による1回計量を、関係市町担当課長及び組合、委託業者で決定したことによることだったのか。

市民部長 三者会議の中で誰も気づかず風袋重量が決定されたことが原因で、監督する立場にある担当課の配慮不足を感じている。

池永 発生した過払い金はどう扱うのか。責任の所在もはっきりしないのだから、そのままにするのか。

市民部長 過払い金が発生したことは事実だから、市民の方が納得される対応が必要であると担当課と業者間で話し合い、返納をお願いしている。

池永 市の顧問弁護士の意見では「業者には過失はないだろう」と



「計量中のゴミ収集車」

情報モラル教育の推進

松井美津子 議員



女性参画の拡大に向けたポジティブアクションについて

松井 政策方針決定過程への女性の参画ですが、男女共同参画宣言が、絵に描いた餅で終わらないように女性の参画もトップクラスの市になるように市長の見解を伺う。

市長 私の人権教育、人間の尊厳、ライフワークの課題でもある。4月1日には、女性の登用も考えている。

松井 女性職員のキャリアアップ研修についてどのような成果が出ているのか率直な感想を。

総務企画部長 女性職員による自主研修を行っている。

市長 参加者からは勉強し、言うべきことは言う。行つべきことは行つ職員になるべきという意見が出ている。

松井 薬物乱用防止教育に対する啓発の取り組みは。

教育委員会事務局 薬物乱用防止キャラバンカーがあると伺ったので活用できるか検討したい。



松井 インターネットでのいじめが増え、携帯電話を親子で使い方を学んで、ネット社会を賢明に生きる方法を勉強する必要があるのでは。

教育委員会事務局 メディア・リテラシーネット情報を判断し、賢く活用する能力を育成していかなければならない。生徒や、保護者に生徒指導や教育講演会を利用して啓発に努めてまいりたい。

松井 市の福祉関連の文書、ホームページに「障害者」をひらがなの「障がい者」と表記しては。

総務企画部長 例規以外の公文書で変更可能なものはひらがなの交ぜ書きの表記を職員に周知した。

松井 「世界自閉症デー」の周知の取り組みは。

健康福祉部長 県からの通知もあり、ホームページに掲載した。